

報道関係各位

平成29年5月24日

国文学研究資料館と茨城大学地球変動適応科学研究機関 歴史資料を活用した防災・気候変動の研究に関する連携協定を締結 —5月31日（水）茨城大学水戸キャンパスで調印式—

人間文化研究機構 国文学研究資料館（館長：ロバート キャンベル）と茨城大学 地球変動適応科学研究機関（略称 ICAS、機関長：伊藤哲司）は、このたび連携協力に関する協定書を締結し、歴史資料を活用した防災・気候変動適応に向けた研究および人材育成を共同で推進することになりました。

国文学研究資料館は、大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（略称：歴史的典籍NW事業）」の中心機関として、文理融合の共同研究により、日本語の歴史的典籍に残された「知」が、現代において積極的利活用される研究に取り組んでいます。また、茨城大学 ICAS は、地球温暖化などの気候変動による海岸浸食等の現象や国内外の災害への適応策について、多様な分野の研究者が協働しながらフィールド調査・研究、サステナビリティ教育を進めており、近年では東日本大震災（2011年）や関東東北豪雨（2015年）といった災害に際しても調査研究や支援活動を行ってきました。

両者は、関東東北豪雨で被災した歴史史料の修復作業をきっかけに交流を開始し、その後の協議を通じて、「歴史資料を活用した防災・気候変動適応に向けた新たな研究分野の創成」というテーマの下、共同研究を進めることで合意しました。本研究では、大規模な自然災害や気候変動に対して、古典籍・古記録・古文書等から歴史的な災害対応、適応の状況を明らかにし、将来の防災・気候変動適応に向けた文理融合型の新たな研究分野の創成をめざすものです。あわせて、そのためのネットワーク形成と人材育成を推進します。

連携協定の調印式を下記の要領で実施します。取材をご検討いただきますようお願いいたします。

【日時】 2017年5月31日（水）15:00～15:30

【場所】 茨城大学水戸キャンパス 事務局棟2階第3会議室（水戸市文京2-1-1）

【出席者】 国文学研究資料館：副館長 兼 古典籍共同研究事業センター長 谷川恵一 ほか
茨城大学：学長 三村信男、地球変動適応科学研究機関長 伊藤哲司 ほか

※ 調印式終了後（15:30～16:30）、国文学研究資料館 西村慎太郎 准教授・茨城大学理学部 小荒井衛 教授による研究発表を予定しています。よろしければ併せてご出席ください。

【報道関係のお問い合わせ】

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター
事務局 古典籍共同研究係（立川市緑町10-3）
担当：神谷
TEL: 050-5533-2988 FAX:042-526-8883
E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp

茨城大学 広報室（水戸市文京2-1-1）
担当：山崎
TEL: 029-228-8008 FAX:029-228-8019
E-mail: koho-prg@ml.ibaraki.ac.jp